

セミナーのお知らせ

演題：

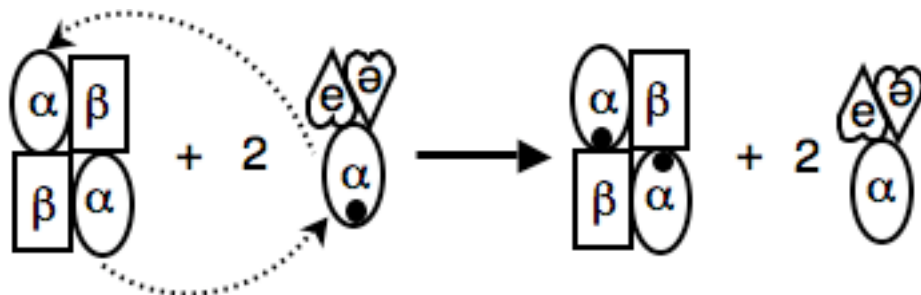
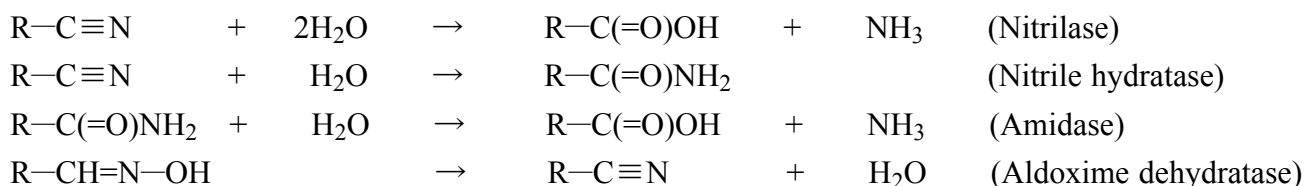
ニトリル代謝に関わる酵素の分子機能解析と物質生産への応用

演者： 小林 達彦 先生
(筑波大学 教授)

日時：平成22年1月25日（月）午後5－6時

場所：園芸学部 E 棟 205 教室

要旨：ニトリルやシアンは、炭素-窒素三重結合のシアノ基を有するため毒性を示す化合物であるが、一方で、化学工業の中間体や農薬など幅広い用途で使用されている。我々はこれ迄、特に微生物によるニトリル分解代謝に関わる（以下の反応を触媒する）酵素群の反応機構や酵素遺伝子の発現調節機構を詳細に検討するとともに、酵素および遺伝子発現系を用いた有用物質生産の応用研究を行っている。新規翻訳後修飾機構の発見（以下の図参照）を含め、最近の研究成果についても紹介する。



世話人：応用生命化学科 微生物工学 田中 寛（内線8866）